

経営比較分析表（令和6年度決算）

千葉県袖ヶ浦市 袖ヶ浦駅第一駐車場

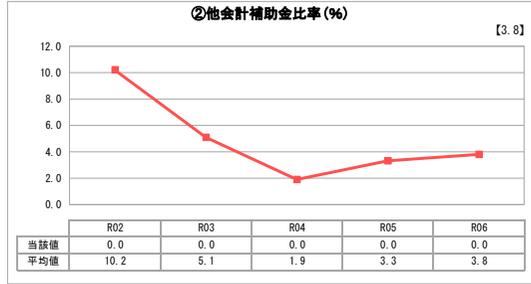
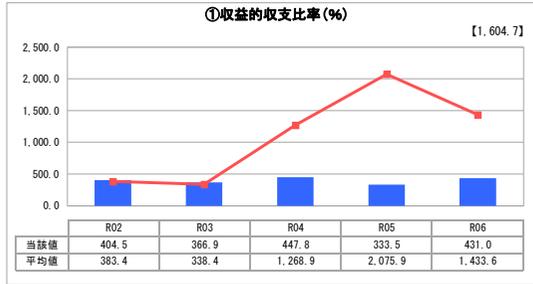
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	27	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,040
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
65	550	代行制

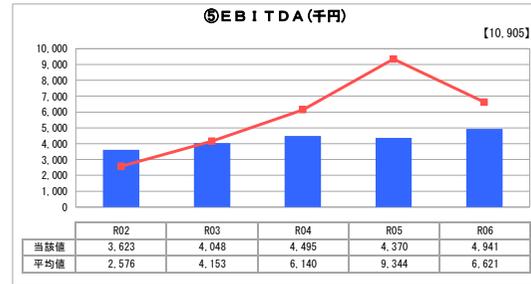
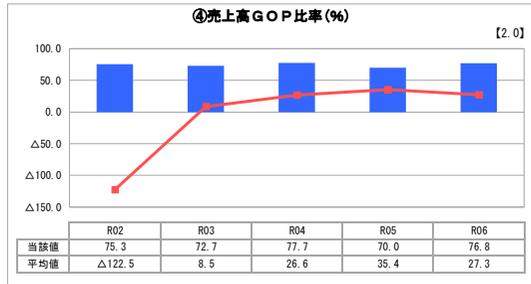
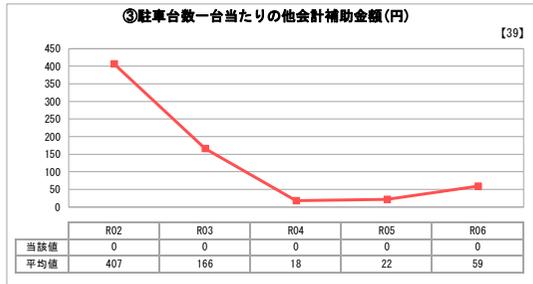
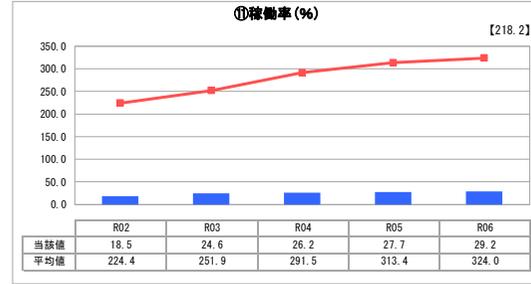
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

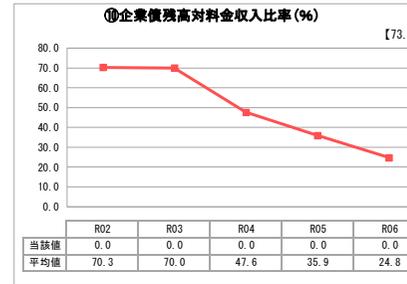


⑧敷地の地価(千円)

93,840

⑨設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
収益的収支比率、売上高GOP比率及びEBITDAともに昨年度と比べて上昇傾向である。

2. 資産等の状況について
当該施設は健全な経営がされており、設備投資見込額については、修繕を要する箇所が発生した場合に対応を行っていくこととしている。

3. 利用の状況について
稼働率については、昨年度よりは若干上昇傾向にある。当該施設立地は近隣に民間駐車場が多数ある状況であり、地域全体で見ると駐車場需要は充足している面もある。また、定期利用者と一時利用者が混在している施設であり、収容台数のうち定期利用者の必要枠を制限していることから、稼働率を動かし今後必要であれば、定期利用者の枠を増減させるなどを検討する必要がある。

全体総括
令和2年度はコロナの流行により利用状況や収益的収支比率等が低下していたが、令和6年度は令和5年度と比べても上昇傾向である。今後は必要に応じた設備投資を行い、健全性の高い経営を持続させていくことが更なる増収に繋がると考えられる。